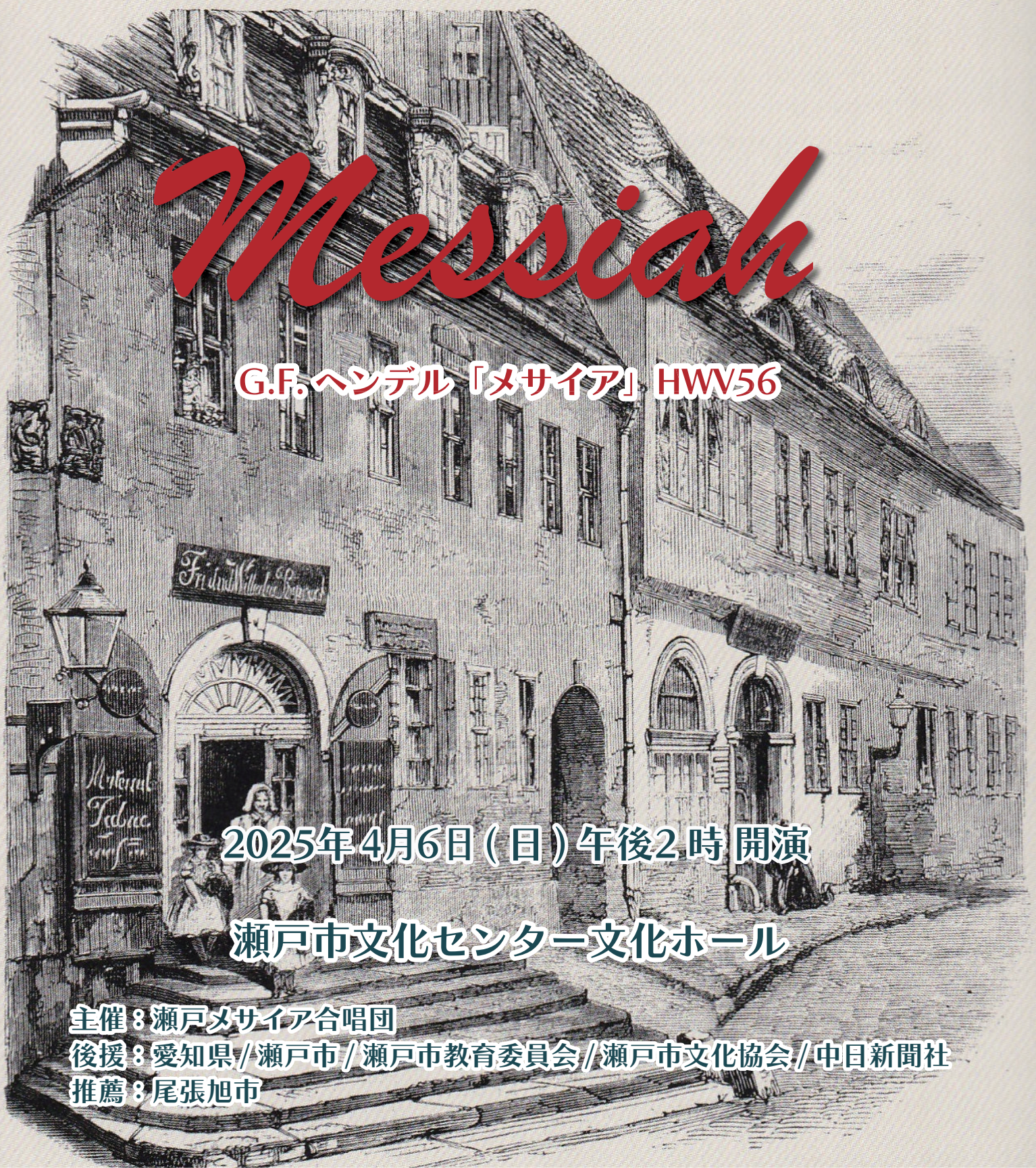
Seto Messiah Chor

瀬戸メサイア合唱団 創立 35 周年記念

メサイア全曲演奏会

～祝ヘンデル生誕 340 年 KoD ドレスデン とともに～



Messiah

G.F. ヘンデル「メサイア」HWV56

2025年4月6日（日）午後2時 開演

瀬戸市文化センター文化ホール

主催：瀬戸メサイア合唱団
後援：愛知県 / 瀬戸市 / 瀬戸市教育委員会 / 瀬戸市文化協会 / 中日新聞社
推薦：尾張旭市

瀬戸メサイア合唱団 創立 35 周年記念　ヘンデル メサイア全曲演奏会
～ 祝ヘンデル生誕 340 年　KoD ドレスデンとともに ～

MESSIAH

指　揮：ニコラウス・ミューラー
演　奏：KoD ドレスデン、バロック・ソロイスツ・アイチ
芸術監督：オラフ・シュピース
合　唱：瀬戸メサイア合唱団
　合唱指導：高岡美千代
　合唱練習ピアニスト：山田　晶子

ソプラノ　　：磯村美有紀
アルト　　：三輪　陽子
テノール　　：大久保　亮
バス　　：鈴木　健司

主催：瀬戸メサイア合唱団

後援：愛知県 / 瀬戸市 / 瀬戸市教育委員会 / 瀬戸市文化協会 / 中日新聞社
推薦：尾張旭市

愛・地球博 20 祭連携イベント
公益財団法人瀬戸信用金庫地域振興協力基金助成事業

お祝いの言葉

瀬戸市長　川本　雅之



本日、ここ瀬戸市文化センター文化ホールにおきまして、瀬戸メサイア合唱団創立35周年記念「メサイア全曲演奏会」 ～祝　ヘンデル生誕340年　KoDドレスデンとともに～　が盛大に開催されますことを心からお祝い申し上げます。

瀬戸メサイア合唱団は設立以来ヘンデルの『メサイア』を歌い続け、創立10周年以降は約5年ごとに「メサイア」全曲演奏会を開催し、本市の音楽文化振興に多大な貢献をされてきました。これも、音楽を心から愛し、音楽に情熱を傾けておられる団員の皆様はじめ、関係各位のご尽力とご努力の賜物と深く敬意を表す次第であります。

また、2005年の愛知万博を契機に始まったドイツの音楽団体との交流は、瀬戸の文化に国際的な広がりをもたらしました。特に、2007年の訪独で共演したKoDドレスデンとのつながりは、長年の友情として実を結び、本日の記念演奏会においても、その素晴らしい演奏を共有できることに感謝申し上げます。

今年は愛知万博20周年、さらにヘンデル生誕340年という記念すべき年を迎えます。これからも瀬戸メサイア合唱団が地域と世界をつなぐ架け橋として、音楽文化を広げて行かれることを期待しております。

本日の演奏会が、皆様にとって心に残るひと時となりますようにお祈り申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。

ご挨拶



ライプツィヒ・聖トーマス少年合唱団の若い歌手として、ヨハン・セバスチャン・バッハのマタイ受難曲のコンサートツアーで日本を知る機会がありました。私にとっては魅惑的な出会いでした！ですから、日本を再び訪れ、瀬戸メサイア合唱団とともにゲオルク・フリードリヒ・ヘンデルのメサイアを演奏できることは私にとって大きな喜びです。この作品は音楽と内容を通じて、異なる出身、文化、信仰を持つ人々の理解を深める上で他に類を見ない存在です。

Nikolaus Müller: ニコラウス・ミューラー

ご挨拶

本日は瀬戸メサイア合唱団創立35周年記念演奏会、ヘンデル「メサイア全曲演奏会」にお出かけ下さいまして有難うございます。

メサイア全曲演奏会は創立10周年以来5年ごとに開催してきましたが30周年はコロナ禍により開催できませんでした。本日ここに、35周年演奏会を開催できますのも、諸団体のお力添えや皆様の叱咤激励のおかげと感謝しています。

今回はドイツ・ドレスデンよりKoDを招いての演奏会となりました。KoDは2010年の15周年演奏会にもこの瀬戸で私たちとメサイアを演奏しました。また本年はKoDをはじめとするドイツの演奏家との交流のきっかけとなった愛知万博20周年の年にもあたり記念演奏会として有意義なものと思います。

私たちはこれからも一歩ずつレベルを高める演奏を目指して努力し地域に貢献できる合唱団としてまいりますのでどうぞよろしくお願い致します。

今後とも皆様方のなお一層のご指導ご支援をお願い申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

瀬戸メサイア合唱団一同

プログラム

第Ⅰ部　預言・降誕

暗闇を歩くエルサレムの人々に救世主生誕の預言が与えられ、預言どおりに主が降誕するクリスマスの物語が語られます。人々は喜び歌い踊ります。主に学ぶこと、そして主の優しいくびきを負うことで心の安らぎが得られることが歌われ、希望と安らぎで結びます。

休憩

第Ⅱ部　受難

人々はキリストを裏切り、キリストは受難します。まずその大いなる悲しみが歌われ、そして預言のとおり復活し、その知らせは世界に行き渡ります。一部の反対勢力も ありますが、主の栄光の前に打ち砕かれてしまいます。 そして最後に復活へと神を賛美する「ハレルヤ」が歌われます。

第Ⅲ部　復活・昇天・罪の贖いの約束

預言どおりにキリストが復活したあとは、死に対峙して永遠の生命が勝利をし、ラッパが高らかに鳴り響いて、全ての者は不死なる者へと変わります。そして、主の栄光が歌い上げられます。

この第３部のためにメサイアは本来イースターの時期に歌われるものとも言われます。

プロフィール

Nikolaus Müller : ニコラウス・ミューラー（指揮・チェンバロ）

ドイツ・ライプツィヒの聖トーマス少年合唱団で最初の音楽教育を受ました。当初は物理学を学んでいましたが、ライプツィヒ音楽大学でマイケル・ケーラーとともにオーケストラ指揮の勉強を始めました。その後、ライプツィヒでファビオ・ルイージ、ドレスデンでエッケハルト・クレムとの学位取得課程を経て卒業しました。 卒業後、プロおよびセミプロのさまざまな合唱団で合唱指揮者として勤めました。 ウィーン少年合唱団とともにアメリカおよびラテンアメリカで演奏し、ドイツおよびオーストリアのオーケストラや合唱団とともに指揮者としても活動しました。 8 年間にわたり、テューリンゲン州立ユース合唱団とともに挑戦的なレパートリーで合唱コンサートを組織し、ハレのヘンデル・フェスティバル、ハインリヒ・シュッツ音楽祭、ボンのベートーヴェン・フェスティバルなどの著名なフェスティバルで演奏しました。ビデオや CD の制作で彼の芸術活動が記録されています。ロバート・フランツ・ジンガアカデミー・ハレの芸術監督として、「ムジカ・サクラ」コンサートシリーズの組織に重要な役割を果たし、マックス・レーガーやヴィルヘルム・ベルガーの稀に演奏される作品も取り上げました。2016 年からはドイツ・ルール大学ボーフムの音楽センターで大学音楽ディレクターおよび音楽部門長を務めています。今年初めて、Dresden の KoD からの招待を受けて、日本の瀬戸メサイア合唱団とともにヘンデルの「メサイア」を指揮します。

Kammerorchester ohne Dirigenten Dresden e.V. 社団法人 指揮者の いない室内管弦楽団 ドレスデン



1967 年に設立されたこの弦楽アンサンブルは、バロック時代に一般的だった演奏形式を採用しており、コンサートマスターが演奏を導きます。2002 年よりオラフ・シュピース（ザクセンのドレスデン州立歌劇場）がこの役を担っています。このオーケストラには、様々な職業からなる約 25 人の音楽家が所属しています。レパートリーには、バロック時代、古典派、前古典派そしてロマン派の作品が含まれています。現代の作曲家による委嘱作品もコンサートプログラムを充実させます。特筆すべきハイライトは、2010 年の日本へのオーケストラツアーで、G.F. ヘンデルの《メサイア》の瀬戸メサイア合唱団との共演、2014 年のイタリアツアーで、シエナとその周辺でのコンサート、そして 2016 年のサンクトペテルブルクへの当地ドイツ人コミュニティによる招待があげられます。

※　KoD とは瀬戸メサイア合唱団の 2007 年訪独時に「メサイア」を共演して頂いた事から今日まで交流が続いています。



Olaf Spies : オラフ・シュピース（芸術監督）

ドレスデン生まれのオラフ・シュピースは、4 歳の時に初めてバイオリンのレッスンを受けました。ドレスデン音楽大学で学び、ミュンヘンで大学院を卒業しました。1990 年から 1993 年まで、ドレスデン・フィルハーモニー管弦楽団の代役バイオリニスト、ライプツィヒ放送交響楽団のメンバーでした。1993 年以降、世界トップクラスのオーケストラの 1 つであるドレスデン国立歌劇場管弦楽団のメンバーです。オーケストラ奏者としてだけでなく、さまざまな室内楽アンサンブルで演奏しています。2002 年以降、オラフ・シュピースはドレスデン指揮者のいない室内オーケストラ（KoD）の芸術監督を務めています。オーケストラは定期的にソリストとして、またゲストとして彼と共演しています。



Jörg Kettmann : イェルク・ケットマン（ヴィオラ）

イェルク・ケットマンは、父親のヴァイオリン演奏から音楽的インスピレーションを受けました。ドレスデン音楽大学で学んだ後、1977 年にドレスデン・フィルハーモニー管弦楽団に入団。数年後、同オーケストラとドレスデン少年合唱団クロイツコールとともに初めて日本を訪れました。1985 年、ヘルベルト・ブロムシュテットに雇われ、ドレスデン・ザクセン州立歌劇場管弦楽団に入団し、2021 年まで第一ヴァイオリンのメンバーを務めました。この間、室内楽に熱心に取り組み、ヴァイオリンだけでなく、ヴィオラ、ヴィオラ・ダモーレ、バロック・ヴァイオリンも演奏しました。また、弦楽器のための編曲も多数手がけました。彼をヴィオラ・グループの新メンバーとして迎えることができてうれしく思います。

ヴァイオリン Ⅰ	***Olaf Spies, Beate Augsburg, Heidrun Saffert, Gabriele Lorenz, Friedrich Rauschnabel***
ヴァイオリン Ⅱ	***Katharina Leuschner, Johanna Fieseler, Juliane Hoth , Heike Vetters***
ヴィオラ	***Ansgar Froese, Jana Jungerberg, Jörg Kettmann***
チェロ	***Sebastian Döhn, Michael Singer, Hendrik Herrmann, Ji-In Choi***
コントラバス	***Dietrich Ancot***



磯村 美有紀（ソプラノ）

愛知県立明和高校音楽科卒業、愛知県立芸術大学音楽学部卒業、同大学大学院音楽研究科修了、修了後 2 年の研鑽ののち、スウェーデンへ 1 年私費留学。J.S. バッハの様々なカンタータをはじめ「ロ短調ミサ」「コーヒーカンタータ」「マニフィカート」、ヴィヴァルディ「詩編 112（RV600）」、ヘンデル「メサイア」にソリスト出演。近年、古楽声楽に本格的に取り組み始める。ほかに、ソプラノデュオ MeM（メム）として、小学校や地域イベント公演を行い、毎年末にはクリスマスコンサートを開催。また、歌・ピアノ・マリンバの 3 人ユニット みとみ音楽館 として、「0 歳からの音があふれるコンサート」を定期公演として行うほか、瀬戸市や名古屋市内各地にて趣向を凝らした親子コンサートを開催。
女声アカペラアンサンブル Cantus NAGOYA 主宰、ヘンデル協会合唱指導者、愛知県立瑞陵高校非常勤講師



三輪 陽子（アルト）

愛知県立芸術大学音楽部声楽専攻卒業。同大学院音楽研究科声楽専攻修了。第5回国際ワーグナー歌唱コンクール派遣対象者国内オーディション最優秀賞と特別賞を受賞。平成 20 年度新進芸術家海外派遣制度在外研修員としてイタリアとオーストリアに留学。新国立劇場オペラ公演、同劇場の鑑賞教室にて「エレクトラ」「カヴァレリアルスティカーナ」「愛怨」「西部の娘」「ワルキューレ」「蝶々夫人」「影のない女」「鹿鳴館」等に出演。宗教曲にて、モーツァルト「戴冠ミサ」「ハ短調ミサ」「レクイエム」バッハ「ロ短調」「ヨハネ受難曲」ロッシーニ「小荘ミサ」ヴェルディー「レクイエム」ドヴォルジャーク「スターバトマーテル」ブルックナー「第3番ヘ短調」など数々のアルトソロとして出演している。コンサートではベートーベン「第九交響曲」やマーラー「嘆きの歌」「復活」「大地の歌」「亡き子を偲ぶ歌」などのソリストとしても活躍している。クロアチア、ウィーン、プラハ等の海外公演にも出演。二期会会員。



大久保 亮（テノール）

愛知県立芸術大学音楽学部声楽専攻卒業。同大学大学院首席修了。愛知祝祭管弦楽団楽劇「神々の黄昏」ジークフリート役、名古屋二期会創立 50 周年「魔笛」タミーノ役など数々のオペラに出演。また、バッハ「マタイ受難曲」「ヨハネ受難曲」「クリスマスオラトリオ」福音史家をはじめ、ヘンデル「メサイア」モーツァルト「レクイエム」ハイドン「天地創造」ベートーヴェン「交響曲第 9 番」メンデルスゾーン「エリヤ」などにテノールソロで出演。リサイタルも定期的に開催し、シューベルト「美しい水車小屋の娘」「冬の旅」「白鳥の歌」を演奏している。現在、岡崎市民合唱団常任指揮者、合唱団「くさぶえ」、混声合唱団「コールキルシェ」、大府ジュニア合唱団指揮者、バッハアンサンブル名古屋、愛知 J.S. バッハ合唱団合唱指導者、混声合唱団「グリーン・エコー」、合唱団「花集庵」合唱団「イオス」にてヴォイストレーナーを務めている。



鈴木 健司 (バリトン)

愛媛大学教育学部卒業。大阪芸術大学大学院博士後期課程修了（芸術博士）。ドイツ歌曲を三原剛、小林道夫、前田昭雄の各氏に師事。第 58 回全日本学生音楽コンクール大阪大会 1 位。第 6 回日本演奏家コンクール学生部門一位、第 7 回大阪国際音楽コンクール学生部門 2 位、第 46 回なにわ藝術祭新人賞を受賞。数多くのオペラに主要な役として出演し、コンサートでは、バッハ「カンタータ」、ハイドン「天地創造」、シューベルト「G-dur ミサ」、モーツァルト「戴冠ミサ」「レクイエム」、サリエリ「レクイエム」、ベートーヴェン「ハ長調ミサ曲」「第九交響曲」、ロッシーニ「小荘厳ミサ」、フォーレ「レクイエム」、三木稔「レクイエム」、山田耕筰「おやさま」等のバスソリストをつとめる。これまでに歌曲集「冬の旅」「詩人の恋」を取り上げリサイタルを行った。現在東海中学校音楽科教諭。男声合唱団グランフォニックヴォイストレーナー。愛知 J.S. バッハ合唱団指導者。



高岡 美千代 (合唱指導)

愛知県立芸術大学声楽科卒業。神田詩朗、中村浩子、E. セリグ、ウーヴェ・ハイルマン各氏に師事。移川澄也氏に長年フースラーの発声法の実践法を受ける。宗教曲のアルトソロとしてバッハ「マタイ受難曲」「ヨハネ受難曲」モーツァルト、ドボルザーク「レクイエム」、ペルコレージ「スタバート・マーテル」等に多くの合唱団と共演。名古屋二期会・市民オペラで「魔笛」侍女、「ジャンニスキッキ」ツイータ、「リゴレット」マッダレーナ等に出演。日本歌曲、フランス歌曲でリサイタル開催。桜丘高等学校音楽科、名古屋女子大学、金城学院大学非常勤講師を経て現在、野のゆりコーラス主宰。金城学院クワイア指揮者。ヘンデル教会メサイア合唱団。2015 年より瀬戸メサイア合唱団を指導。



山田 晶子 (練習ピアニスト)

京都市立堀川高等学校音楽科卒業。愛知県立芸術大学音楽部器楽科ピアノ専攻卒業。同大学大学院音楽研究科修了。竹内美知子、芝崎美恵、田辺緑、ヘンリエッタ・G・ミルヴィスの各氏に師事。
一宮市「コーラス沙羅」、アーチ・ヴォイス長久手、春日井市「混声ふるさと」「一宮第九を歌う会」の伴奏ピアニスト。2010 年より瀬戸メサイア合唱団ピアニスト。

バロック・ソロイスツ・アイチ

オーボエ奏者 石田 正が今回の演奏会の為に愛知県内のヴィルトーゾを招聘。来日した KoD と共演し、サポートする。



石田　正　オーボエ 1

名古屋芸術大学音楽部器楽科卒業、現在、名古屋ダブルアンサンブルのメンバー。
2008 年アフィニス夏の音楽祭に参加。2017 ～ 2021 まで、名古屋文理大学文化フォーラムでバロック音楽に特化した公演をプロデュース。2024 年 fil*coule オーボエ作曲コンクールで審査員特別賞を受賞。
合奏指導では、岐阜ドルチェ管弦楽団、アセンブル管弦楽団、テアトロ・ウインド・オーケストラ、ウインドアンサンブル岐阜などの各常任指揮者。名古屋芸術大学非常勤講師 (音楽領域・室内楽) も務める。



安原 太武郎　オーボエ 2

東京音楽大学附属高等学校を経て、東京音楽大学卒業。ドイツ・カールスルーエ音楽大学、大学院修了。第 15 回かながわ音楽コンクール管楽器部門総合第 1 位となり、トップコンサートにて神奈川フィルハーモニー管弦楽団とコンチェルトを共演。小澤征爾音楽塾オペラプロジェクト「ドン・ジョバンニ」、ロストロポーヴィッチ・コンサートキャラバン 2002、2005 に参加。アフィニス夏の音楽祭 2011 広島に参加。これまでに安原理喜、故小島葉子、宮本文昭、加納律子、トーマス・インデアミューレの各氏に師事。現在、セントラル愛知交響楽団 1st オーボエ奏者。名古屋芸術大学、金城学院大学文学部音楽芸術学科非常勤講師。ドルチェ名古屋ミュージックアカデミー講師。



赤堀 裕之史　トランペット 1

愛知県立芸術大学卒業。同大学卒業演奏会、岐阜県新人演奏会、オーディションによる新進演奏家コンサートに出演、小澤征爾音楽塾に参加。同大学の大学院修士課程を修了後、渡独しワイマールにあるフランツリスト音楽大学にて研鑽を積む。ブラウンシュバイク州立歌劇場の学生契約、兵庫芸術文化センター管弦楽団コアメンバーを経て、現在は中部フィルハーモニー交響楽団首席奏者。愛知県立芸術大学博士後期課程修了。博士（音楽）号取得。これまでにトランペットを、宮ノ下佳彦、武内安幸、ウヴェ コミシュケの各氏に師事。岐阜県立加納高等学校音楽科非常勤講師、名古屋芸術大学非常勤講師。



田中 誠剛　トランペット 2

武蔵野音楽大学を卒業。2000 年小牧市交響楽団（現・NPO 法人中部フィルハーモニー交響楽団）に入団。同年渡仏し、国立パリ高等音楽院（CNR・現 CRR）に入学。'01 年フランス・ムーラン市主催ヨーロッパ若い演奏家のための音楽コンクールトランペット部門第三位（一位、二位なし）入賞。'02 年パリ・セルマー社主催コンクール第二位入賞。シフラ財団による音楽祭に招かれマルセイユの合唱団と共演する。同年音楽院を修了。トランペットを福井功、タマシュ・ヴェレンツェイ、ギィ・トゥヴロンの各氏に師事。現在、中部フィルハーモニー交響楽団トランペット奏者



北川 陽子　ファゴット

愛知県立芸術大学卒業。同大学院修了。ヤマハ音楽振興会留学奨学生として渡独、ドイツ国立トロッシンゲン音楽大学を卒業、ディプロム取得。若手奏者の為のコンペティションソロ部門にて 2005 年日本国際博覧会協会賞を受賞。新進演奏家紹介コンサートオーディション管楽器部門にて優秀賞受賞。日演連推薦新人演奏会にて名フィルとウェーバーのファゴット協奏曲を共演、中日賞受賞。小澤征爾オペラプロジェクトⅠ、サイトウキネンオーケストラ、小澤氏とロストロポーヴィチ氏によるキャラバンコンサートなどに参加。中部フィルハーモニー交響楽団首席ファゴット奏者。同朋高等学校音楽科、名古屋音楽大学非常勤講師。



稲垣 佑馬　ティンパニー

愛知県立明和高等学校音楽科を経て、東京音楽大学音楽学部器楽専攻を卒業。その後アメリカへ渡りさらに研鑽を積む。現在東海地方を中心に各地で演奏活動を展開。大学在学中より新作初演に積極的に取り組み、室内楽曲を中心に数多くの作品を初演、クラシックにおける打楽器の新たな可能性を模索。柔軟な音楽性と幅広い知識で古典から近現代まで様々な分野の演奏を可能とする。ソロマリンバ奏者としての活動のほか、打楽器奏者として室内楽への参加、オーケストラ、吹奏楽団体への客演など幅広く活動。名古屋芸術大学、名古屋音楽大学各非常勤講師。



加藤 千加子　オルガン

金城学院大学在学中に横手多佳子氏のもとでオルガンを始める。卒業後に、スイス・チューリヒ音楽大学教会音楽オルガン科に入学。ルドルフ・シャイデッガー氏に師事しコンサートディプロムを取得。在スイス中、マリー＝クレール・アラン、ギィ・ボヴェ、ルイージ・タリアヴィニ、ルドルフ・ルッツ、ベン・ファン・オーステンのマスタークラスに参加。
日本オルガニスト協会会員、日本リードオルガン協会会員、日本キリスト改革派名古屋教会奏楽者。

歌詞と解説

＜＜序文＞＞

MAJORA CANAMUS

いざ我ら、大いなる事を歌わん

And without Controversy, great is the Mystery of Godliness:
God was manifested in the Flesh, justified by the Spirit,
seen of angels, preached among the Gentiles, believed on in the World,
received up into Glory.
In whom are hid all the Treasures of Wisdom and Knowledge.

言うまでもなく、信仰の秘められた真理は大きい。
神の子は肉体として現れたが、霊によって全き者とされ、
天使らから仰がれ、異邦人に宣べ伝えられ、
世界中から信じられ、栄光へと迎えられた。
この方に知慧と知識のすべては隠されてあり。

Part Ⅰ　第 1 部
Prophecy & Nativity　預言・降誕

1. Symphony　1. 管弦楽　序曲

罪のゆるしと解放（第２曲～第４曲）「救世主が現れ、戦争状態にあったエルサレムが赦され、その民が慰められる」という預言がテノールの叙唱（第２曲）で歌われ、続くアリア（第３曲）で、「救世主が現れるのだから、荒地は道になれ、すなわち、自然界すら栄光の前にはひれ伏しなさい。」と歌われます。これを受けて第４曲の合唱が「主の栄光がこうして現れる」と神を賛美します。

2. Accompagnato (Tenor)　2. 叙唱 (テノール)

"Comfort ye comfort ye my people.", saith your God,"Speak ye comfortably to Jerusalem, and cry unto her that her warfareis accomplished,that her iniquity is pardoned."The voice of him that crieth in the wilderness, "Prepare ye the way of the Lord. Make straight in the desert a highway for our God. "　(Isaiah 40:1 ～ 3)

「慰めよ、わたしの民を慰めよ。」とあなたたちの神は言われる。「エルサレムの心に語りかけ、彼女に呼びかけよ。戦乱の日々は終わり、エルサレムの罪も赦された、と」。荒野で叫ぶ者の声がする。「主の道を整えよ。私たちの神のために、砂漠にまっすぐな大路をつくれ」と。
(イザヤ書第 40 章 1 ～ 3 節)

3. Air (Tenor)　3. アリア (テノール)

Every valley shall be exalted, and every mountain and hill made low, the crooked straight, and the rough places plain.
(Isaiah 40:4)

あらゆる谷は持ち上げられて低くなり、あらゆる山や丘は低くされるだろう。曲がったところはまっすぐに、凸凹のある所は平らにされるだろう。　(イザヤ書第 40 章 4 節)

4. Chorus　4. 合唱

And the glory of the Lord shall be revealed, and all flesh shall see it together, for the mouth of the Lord hath spoken it.
(Isaiah 40:4)

このようにして、主の栄光が現わされ、皆が共にこれを見るであろう。主の口が語られた通りに。
(イザヤ書第 40 章 5 節)

神の厳粛な裁き（第５曲～第７曲） バスの叙唱（第５曲）が、神（＝万軍の主）の言葉として、「天地やすべての国を揺り動かそう。するとメシアがやってくる、あなた方が尋ねもとめている主と、待ち望んでいる契約の使者が突然神殿にくるであろう。」と伝えます。続くアルトのアリア（第６曲）は、「メシアは、精錬の炎のように、すべてを焼き尽くし、清めてしまう」という内容を歌い、第７曲の合唱が「この方は、レビの子達を清め、そして清められたものだけが義にかなった捧げものをできる。」という内容を歌います。こうして、キリストが生まれるにふさわしい土壌が整備されます。

5. Accompagnato (Bass)　5. 叙唱 (バス)

Thus saith the Lord, the Lord of Hosts: Yet once, a little while, and I will shake the heavens and the earth, the sea and the dry land; and I will shake all nations,and the desire of all nations shall come.　(Haggai 2:6 ～ 7)
and The Lord, whom ye seek, shall suddenly come to His temple, even the messenger of the covenant, whom ye delight in; Behold, he shall come, saith the Lord of Hosts.
(Malachi 3:1)

万軍の主はこう言われる。「間もなくもう一度、私は天と地と、海と陸と、全ての国々を揺り動かすであろう。すると、全ての国々の望んでいた財宝（メシア）がやって来るであろう」と。　（ハガイ書第 2 章 6~7 節）
またあなたたちが尋ね求めている主と、あなたがたの待ち望んでいる契約の使者は、突然その神殿に来るだろう。「見よ、その方がやって来る」と万軍の主は言われる。
(マラキ書第 3 章 1 節)

6. Air (Alto)　6. アリア (アルト)

But who may abide the day of His coming? and who shall stand when He appeareth? For He is like a refiner's fire.
(Malachi 3:2)

誰がその方の来る日に耐えられようか？だれが、この方の現れるときに立っていられようか？まことに、この方は精練する者の火のようだ。　(マラキ書第 3 章 2 節)

7. Chorus　7 . 合唱

And He shall purify the sons of Levi, that they may offer unto the Lord an offering in righteousness.
(Malachi 3:3)

この方はレビの子らを（精錬して）純化するであろう。そして彼らこそが義にかなった捧げものを主に捧げるようになるであろう。　(マラキ書第 3 章 3 節)

Recitative (Alto)　朗唱 (アルト)

Behold! a Virgin shall conceive, and bear a son, and shall call his name Emmanuel: God with us.
(Isaiah 7:14) (St. Mathew 1:23)

見よ、処女が身ごもって、男の子を産み、「エマヌエル」と名付けるであろう。「エヌマエル」とは「神が我々と共にいます」という意味の名である。
(イザヤ書第 7 章 14 節)（マタイ第 1 章 23 節）

受胎の知らせ（第８曲） いわゆる受胎告知とメシアの到来までを喜ぶ部分です。受胎告知は、古来、数々の名画の題材にもなっているのでご覧になった方も多いと思います。マリアの受胎の喜びがエルサレムにもたらされる喜びを歌います。

8. Air (Alto) & Chorus　8. アリア (アルト) と合唱

O thou that tellest good tidings to Zion, get thee up into the high mountain!
O thou that tellest good tidings to Jerusalem,lift up thy voice with strength! lift it up, be not afraid! Say unto the cities of Judah: Behold your God ! (Isaiah 40:9)
O thou that tellest good tidings to Zion, arise, shine, for thy light is come.and the glory of the Lord is risen upon thee. (Isaiah 60:1)

シオンに良い知らせを伝える者よ、高い山に登れ。
エルサレムに良い知らせを伝える者よ、力の限り声をあげよ。恐れるな。ユダの町々に告げよ。「見よ、あなたたちの神を見よ！」と。 (イザヤ書第 40 章 9 節)
シオンに良い知らせを伝える者よ、あなたは光を授かったのだから立ち上がって光を放て。そうすれば主の栄光があなたの上に輝くであろう。
(イザヤ書第 60 章 1 節)

闇の中の光（第 9 曲、第 10 曲） ここで一気に喜びが実現されるのではなく、バスの叙唱（第 9 曲）とアリア（第 10 曲）で主の栄光が現れる前の闇を描き、そこに光がさすというお膳立てをして、次のイエスの誕生の喜びをさらに際立たせます。

9. Accompagnato (Bass)　9. 叙唱 (バス)

For behold, darkness shall cover the earth, and gross darkness the people: but the Lord shall arise upon thee, and His glory shall be seen upon thee. And the Gentiles shall come to thy light, and kings to the brightness of thy rising. (Isaiah 60:2 ～ 3)

見よ、闇が地の上を、暗闇が人々の上を覆っている。しかし、あなたの上には主が登って行かれ、その栄光があなたの上に現れるだろう。諸国の民はあなたの光の方へと歩み、王たちもあなたの輝きへと歩み寄るだろう。
(イザヤ書第 60 章 2 ～ 3 節)

10. Air (Bass)　10. アリア (バス)

The people that walked in darkness have seen a great light: and they that dwell in the land of the shadow of death, upon them hath the light shined. (Isaiah 9:2)

闇の中を歩んでいた民は、大き光を見た。
死の影の地に住んでいた者たちのの上に光が輝いた。
(イザヤ書第 9 章 2 節)

聖誕（第 11 曲） イエスが生まれた喜びを、合唱が「それは、一人のみどり子が、私達のために生まれたからである。私達は一人の男の子を賜わった。治世はその子の肩に委ねられ、その子の名は『すばらしい方、助言者、力ある神、永遠の父、平和の君』と呼ばれるだろうと」歌います。

11. Chorus　11. 合唱

For unto us a Child is born, unto us a Son is given,and the government shall be upon His shoulder;and His Name shall be called Wonderful, Counsellor,The mighty God, The everlasting Father, The Prince of Peace. (Isaiah 9:6)

それは、ひとりのみどり子が、私達のために生まれたからである。私達はひとりの男の子を賜った。治世はその子の方に委ねられ、その子の名は「素晴らしい方、助言者。力ある神、永遠の父、平和の君」と呼ばれるだろう。
(イザヤ書第 9 章 6 節)

田園曲（第 12 曲） イエスが生まれた牧野を思い浮かべさせるようなのどかな 6/8 拍子の器楽曲が、しばし流れます。オーケストラのみの平和な音楽が挿入されます。これはヘンデルがかつて訪れたイタリアで知って以来愛好していたシチリアーナという田園舞曲を基にするものです。

12. Pifa Pastoral Symphony　12. 田園交響曲－シシリヤ牧歌

降誕の知らせ（第 13 曲～第 17 曲） 野原で羊の番をしている羊飼いのもとへ、天使がイエスの誕生を告げる場面です。これも古来数多くの名画を残している場面です。ソプラノが第 13 曲と第 14 曲の叙唱とそれを導く朗唱で、驚く羊飼いたちの様子、天使たちが「恐れることはない、今ダビデの町で救い主がお生まれになったのです。」と告げる様子を歌い、最後に「天使と共に多くの天の軍勢が現れて神を賛美していった」と次の合唱を導きます。

Recitative (Soprano) **朗唱 (ソプラノ)**

There were shepherds abiding in the field, keeping watch over their flocks by night. (St. Luke 2:8)

さて、原野では羊飼いたちが夜、羊の番をしていた。
(ルカ伝第 2 章 8 節)

13.Accompagnato (Soprano) **13. 叙唱 (ソプラノ)**

And lo! the angel of the Lord came upon them,and the glory of the Lord shone round about them, and they were sore afraid. (St. Luke 2:9)

すると見よ！、主の御使いが彼らのところに来て、主の栄光が周りを照らしたので、彼らはひどく恐れた。
(ルカ伝第 2 章 9 節)

Recitative (Soprano) **朗唱 (ソプラノ)**

And the angel said unto them, Fear not: for behold, I bring you good tidings of great joy, which shall be to all people. For unto you is born this day in the city of David, a Saviour, which is Christ the Lord.
(St. Luke 2:10 〜 11)

御使いは彼らに言った。「恐れることはありません。今、私は、あなた方のために素晴らしい喜びを知らせに来たのです。これは全ての人々への喜びの知らせです。今日ダビデの町で、あなた方のために救い主がお生まれになりました。この方こそ主キリストです。」 (ルカ伝第 2 章 10 〜 11 節)

14. Accompagnato (Soprano) **14. 叙唱 (ソプラノ)**

And suddenly there was with the angel a multitude of the heavenly host praising God, and saying: (St. Luke 2:13)

すると、たちまちその御使いとともに多くの天の軍勢が現れ、神を賛美して言った。 (ルカ伝第 2 章 13 節)

第 15 曲の合唱曲がその天の軍勢の声ですが、内容はミサ通常文のグローリアの冒頭の歌詞、“Gloria in excelsis Deo, et in terra pax hominibus bonae voluntatis” と同じ歌詞です。

15. Chorus **15. 合唱**

Glory to God in the highest, and peace on earth, goodwill towards men. (St. Luke 2:14)

「いと高きところでは、神に栄光がありますように。地には平和がありますように。人々に善意が宿りますように。」
(ルカ伝第 2 章 14 節)

イエス到来の喜び（第 16 曲）救世主を得たエルサレム（シオン）の人々の喜びをソプラノソロが喜ばしく歌います。初演版では 8 分の 12 拍子で喜びを表現します。

16. Air (Soprano) **16. アリア (ソプラノ)**

Rejoice greatly, O daughter of Zion! shout,O daughter of Jerusalem: behold, thy king cometh unto thee; He is the righteous Saviour, and he shall speak peace unto the heathen. (Zechariah 9:9 〜 10)

シオンの娘よ、大いに喜べ。エルサレムの娘よ、喜び叫べ。見よ、あなたの王があなたのところへおいでになる。この方は正義の救い主で、諸国の民に平和を告げるであろう
(ゼカリヤ第 9 章 9 〜 10 節)

主の栄光（第 17 曲〜第 18 曲） イエスの生涯を語っている福音書ではかなり長い部分が割かれているイエスの事跡（あるいは奇跡）をごく簡単に語ってしまいます。まず導入のアルトの朗唱では「盲人、聾唖者等の身体障害者も直ぐに治るであろう」という内容を歌い、第 17 曲のアリアでは救世主が「羊飼いが羊を飼うように人類を慈しむであろう、疲れた人、重荷を負っている人はすべてこの方の下にきなさい。‥‥」と歌います。引き続いて第 18 曲の合唱が、救い主が我々に負わせる荷は軽いのだから救い主の下に集まろういう内容を歌います。

Recitative (Alto) **朗唱 (アルト)**

Then shall the eyes of the blind be opened, and the ears of the deaf unstopped. Then shall the lame man leap as an hart, and the tongue of the dumb shall sing.
(Isaiah 35:5 〜 6)

その時、盲人の目は開かれ、聾者の耳は通じるようになるだろう。
足萎えは鹿のように飛び跳ね、唖の舌も喜び歌うだろう。
(イザヤ書第 35 章 5 〜 6 節)

17. Duet(Soprano & Alto)

He shall feed His flock like a shepherd, and He shall gather the lambs with His arm, and carry them in His bosom, and gently lead those that are with young.
(Isaiah 40:11)
Come unto Him, all ye that labour, that are heavy laden, and He will give you rest. Take His yoke upon you, and learn of Him, for He is meek and lowly of heart, and ye shall find rest unto your souls.
(St. Mathew 11:28 〜 29)

17. デュエット（ソプラノ & アルト）

この方は羊飼いのように、羊の群れを養われるだろう。子羊たちをその腕に集め、懐に入れて携えて行き、赤子を連れている羊の群れを優しく導かれるだろう。
(イザヤ書第 40 章 11 節)
疲れた人、重荷を担っている人は、全てこの方のもとに来なさい。この方があなたがたを休ませて下さるだろう。彼は柔和で謙遜な方なので、あなたがたも彼のくびきを負って、彼から学びなさい。そうすれば、魂に安らぎを見いだせることであろう。 (マタイ伝第 11 章 28 〜 29 節)

18.Chorus

His yoke is easy, His burthen is light.
(St. Mathew11:30)

18. 合唱

この方のくびきは負いやすく、その荷は軽いのだから。
(マタイ伝第 11 章 30 節)

Part II 第 2 部
Passion 受難

人々の裏切り（第 19 曲） 場面は一転して、早くも受難へ移ります。
第 19 曲の合唱では、十字架を担いでゴルゴタの丘を登るイエスの足取りを思わせる重々しいリズムに乗って「見よ、世の罪を取り除く神の子羊だ。」と歌い、神の子イエスが人類の代わりに受難することを預言するかのようです。

19. Chorus

Behold the Lamb of God, that taketh away the sin of the world. (St. John 1:29)

19. 合唱

見よ、世の罪を取り除く神の小羊を
(ヨハネ伝第 1 章 29 節)

贖罪による救済（第 2 0 曲〜第 26 曲） 第 20 曲のアルトのアリアでは、イエスが人々に受け入れられず、侮られ、のけ者にされ、はずかしめられ、それでも顔を隠すことなく受け入れていた様を歌います。救世主が病や苦しみをひとえに負うことによって人類が救われることを 3 曲続く合唱曲で歌います。（第 21 曲〜第 23 曲）

20. Air (Alto)

He was despised and rejected of men; a man of sorrows and acquainted with grief. (Isaiah 53:3)
He gave His back to the smiters,and His cheeks to them that plucked off the hair; He hid not His face from shame and spitting. (Isaiah 50:6)

20. アリア (アルト)

この方は侮られて、人々から除け者にされた。彼は悲しみの人であり、苦しみも知っていた。(イザヤ書第 53 章 3 節)
背中を打つものにその背を委ね、髭を抜く者にその頬を任せた。恥ずかしめられ、唾をはきかけられても、その顔を隠すことはなかった。 (イザヤ書第 50 章 6 節)

21. Chorus

Surely He hath borne our griefs, and carried our sorrows.
He was wounded for our transgressions, he was bruised for our iniquities; the chastisement of our peace was upon Him.
(Isaiah 53:4 〜 5)

21. 合唱

まことにこの方は私たちの病を負い、私たちの悲しみを担って下さった。彼は私たちの罪のために傷つけられ、私たちの不義のために砕かれたのだ。彼はご自身でこの懲らしめを受けることにより、私たちに平安をもたらして下さったのだ。 (イザヤ書第 53 章 4 節〜 5 節)

22. Chorus　22. 合唱

And with His stripes we are healed.
(Isaiah 53:5)

彼が打たれたその傷によって、わたしたちは癒されたのだ。
(イザヤ書第 53 章 5 節)

23. Chorus　23. 合唱

All we like sheep have gone astray; we have turned every one to his own way; and the Lord hath laid on Him the iniquity of us all.
(Isaiah 53:6)

わたしたちはみな羊のようにさまよって、それぞれの勝手な道へ散って行ってしまった。それなのに主は、私たちすべてのこの罪を、彼ひとりに負わせたのだ。
(イザヤ書第 53 章 6 節)

あざけり（第 24 曲〜第 25 曲）受難　まずテノールが叙唱（第 24 曲）で、イエスをあざ笑う民衆の様を歌います。続く第 25 曲の合唱がその民衆があざ笑う言葉で、「彼は神を信じているのだ。それなら神が助ければいい。本当に神のお気に入りなら、神は助けてくれるはずではないか。」という現実的な奇跡を示せという内容です。おなじような民衆の声はマタイ受難曲などでも歌われています。

24. Accompagnato (Tenor)　24. 叙唱 (テノール)

All they that see Him laugh Him to scorn;
they shoot out their lips, and shake their heads, saying:
(Psalm 22:7)

彼を見る者はすべて、彼をあざ笑い、
唇を突き出し、頭を振り動かして叫ぶ、
(詩編第 22 章 7 節)

25. Chorus　25. 合唱

He trusted in God that he would deliver him;
let him deliver him, if he delight in him.
(Psalm 22:8)

「彼は神を信じているのだ。それなら神が助ければいい。本当に神のお気に入りなら、神は助けてくれるはずではないか。」
(詩編第 22 章 8 節)

絶望と処刑（第 26 曲〜第 28 曲）ここで十字架上でイエスが死にますが、直接的に「死ぬ」という言葉は出てきません。
第 26 曲ではテノールが、皆にそしられ、慰めてくれるものを誰一人見つけられなかったために望みを失ったこと、第 27 曲のアリオーソで「…この方が味わったような苦しみが、また世にあるだろうか。」と歌います。
そして、とうとう第 28 曲の叙唱で「この方は、あなたの民の罪のために打たれ、命あるものの地から断ち切られたのだ。」と死を意味する言葉が歌われます。ご承知の通り、十字架に架けられたイエスとそれを見上げて嘆き悲しむ聖母の姿も数多くの絵画の題材になっているのもご承知の通りです。

26. Accompagnato (Tenor)　26. 叙唱 (テノール)

Thy rebuke hath broken His heart. He is full of heaviness; he looked for some to have pity on Him, but there was no man, neither found He any to comfort Him.　(Psalm 69:20)

あなたがこの方をそしったので、彼は心を切り裂かれ、望みをうしなった。彼は同情する者を探したが誰ひとり見いだせなかった。
(詩編第 6 章 20 節)

27. Arioso (Tenor)　27. アリオーゾ (テノール)

Behold, and see, if there be any sorrow like unto His sorrow
(Lamentations 1:12)

尋ねてみよ。この方が味わったような苦しみが、また世にあるだろうか。
(エレミア哀歌第 1 章 12 節)

28. Accompagnato (Tenor)　28. 叙唱 (テノール)

He was cut off out of the land of the living: for the transgressions of Thy people was He stricken.　(Isaiah 53:8)

この方は、あなたの民の罪のために打たれ、命ある者の地から断ち切られたのだ。
(イザヤ書第 53 章 8 節)

復活と福音のひろがり（第 29 曲〜第 33 曲）　第 29 曲で、テノールがアリアで神がそのひとり子を見捨てなかったことを歌い、第 30 曲では、一度冥府に落ちたイエスの魂が復活するための城門を開けるための合唱が歌われます。この曲はメサイア全曲中でただ 1 曲、ソプラノが 2 部に分かれる曲です。

29. Air (Tenor)　29. アリア (テノール)

But Thou didst not leave His soul in hell,
nor didst Thou suffer thy holy one to see corruption.
(Psalm 16:10)

しかし、あなたは彼の魂を黄泉に捨て置かれず、聖なる方を死の腐敗に任せはしなかった。
(詩編第 16 章 10 節)

30. Chorus　30. 合唱

”Lift up your heads, O ye gates, and be ye lift up, ye everlasting doors, and the King of glory shall come in.”
”Who is this King of glory? ”
“The Lord strong and mighty. the Lord mighty in battle. “
“The Lord of hosts, He is the King of glory.”
(Psalm 24:7 〜 10)

「門よ、こうべを上げよ。開け、とこしえの扉よ。栄光の王が入られる。」
「その栄光の王とは誰か？」
「強く勇ましい主、戦いに勇ましい主である。」
「万軍の主、彼こそ栄光の王である。」
(詩編第 24 章 7 節〜 10 節)

(第 31 曲)　続くテノールの朗唱ではイエスのみが神の子であることを、第 31 曲の合唱では「神の御使いたちみなに、彼を崇めさせよう。」とイエスの尊さを強調します。また、ここで復活したイエスが天に昇ります。

Recitative (Tenor)　朗唱 (テノール)

Unto which of the angels said He at any time, ”Thou art my Son, this day have I begotten thee”?
(Hebrews 1:5)

いったい神が、(イエス以外の) み使いの誰かに向かって「あなたは私の子だ。きょう、私はあなたを産んだ」と言われたことが、一度でもあるだろうか？　(ヘブル書第 1 章 5 節)

31. Chorus　31. 合唱

Let all the angels of God worship Him.　(Hebrews 1:6)

神のみ使いたちみなに、彼を崇めさせよう。
(ヘブル書第 1 章 6 節)

(第 32 曲)　第 32 曲のアルトのアリアは分かりにくい歌詞ですが、イエスの教えをユダヤ世界だけではなく、世界のすべての人に、反対する者の中にも宣べ伝えようという強い意志の表れといわれています。ただ、このアリアの解釈はメサイアのなかでも最も難しい箇所といわれています。

これを受けて第 33 曲の合唱が「主が命じられると、福音を伝えるものは、大きな群れとなった。」と福音が伝えられ人々が喜ぶ様が表現されています。

32. Air (Alto)　32. アリア (アルト)

Thou art gone up on high, thou hast led captivity captive, and received gifts for men, yea even for thine enemies,that the Lord God might dwell among them.
(Psalm 68:18-19)

あなたは虜を率いて、高みへと昇られた。このとき、人々のために、また背く者たちのためにまで贈物を集められた。主なる神が、彼らの中でも住むことができるように。
(詩編第 68 章 18 節 ~19 節)

33. Chorus　33. 合唱

The Lord gave the word:
Great was the company of the preachers.　(Psalm 68:11)

主が命じられると、福音を伝えるものは、大きな群れとなった。
(詩編第 68 章 11 節)

平和の福音（第 34 曲〜第 35 曲）　ソプラノのアリア、キリストの復活を急いで知らせに走る人々を称えた詩です。

続く第 35 曲はテノールのアリオーソまたは合唱ですが、「their sound is go out」「彼らの声は全地に響き渡り、その言葉は世界の果てにまで及んだ。」は初演版では演奏されませんでした。初演の時期にはまだ作曲されていませんでした。

34a. Air (Soprano)　34a. アリア (ソプラノ)

How beautiful are the feet of them that preach the gospel of peace, and bring glad tidngs of good things.
(Romans 10:15)

良き知らせを伝え、平和の福音をもたらす人々の足はなんと美しいことだろう。
(ローマ人第 10 章 15 節)

35a. Chorus　35a. 合唱

Their sounds is gone out into all lands, and their words unto the ends of the world. (Romans 10:18)

彼らの声は全地に響き渡り、その言葉は世界の果てにまで及んだ。（ローマ人第 10 章 18 節）

地上の王たちの反乱（第 36 曲〜第 37 曲） ここで抵抗勢力が登場します。第 36 曲で、イエスの教えた新興宗教の台頭を防ごうと、弾圧する王たちの姿をバスのアリアが歌います。

第 37 曲の合唱は、同じく抵抗勢力の王たちが「彼らの枷 (かせ) を打ち砕き、彼らの軛 (くびき) を解き捨てよう。」と口々に叫ぶ様を歌います。

36. Air (Bass)　36. アリア (バス)

Why do the nations so furiously rage together? and why do the people imagine a vain thing? The kings of the earth rise up, and the rulers take counsel together against the Lord and against His anointed. (Psalm 2:1 〜 2)

どうして、国々は騒ぎ立ち、どうして人々は虚しい事を企むのだろう。この世の王たちは立ち上がり、統治者たちはともに謀りごとをめぐらして、主と、主に油を注がれたもの（メシア）とに逆らって言う。（詩編第 2 章 1 節〜 2 節）

37. Chorus　37. 合唱

Let us break their bonds asunder, and cast away their yokes from us. (Psalm 2:3)

「彼らの、枷を打ち砕き、彼らの軛を解き捨てよ」と。（詩編第 2 章 3 節）

天上のあざわらい（第 38 曲） 地上の王たちのむなしい抵抗を天の神々があざ笑う部分です。

テノールの朗唱の導入に続いて、第 38 曲のテノールアリアが「…鉄の杖で、陶器を打ち砕くように地上の神々は打ち砕かれるであろう。」と歌います。

Recitative (Tenor)　朗唱 (テノール)

He that dwelleth in heaven shall laugh them to scorn; the Lord shall have them in derision. (Psalm 2:4)

しかし、天に座する方はその者たちを笑い飛ばし、主は彼らを嘲ってこう言われるだろう。（詩編第 2 章 4 節）

38. Air (Tenor)　38. アリア (テノール)

Thou shalt break them with a rod of iron; Thou shalt dash them in pieces like a potter's vessel (Psalm 2:9)

「お前は鉄の杖で彼らを打ち破り、陶工の作る焼物の器のように打ち砕くであろう」と。（詩編第 2 章 9 節）

全能の王の賛美【ハレルヤ】（第 39 曲）抵抗勢力を打ち砕いて、主の栄光の国が訪れたことを賛美する有名な合唱です。

「ハレルヤ！　われらの主、全能の神は支配者となられた。この世の国は、われらの主とそのキリストの王国となった。主は世々限りなく君臨される。王の中の王、主の中の主。ハレルヤ！」

ところで「ハレルヤ」とはヘブライ語で「神を賛美せよ」の意味です。

39. Chorus　39. 合唱

Hallelujah! for the Lord God Omnipotent reigneth.
The Kingdom of this world is become The Kingdom of our Lord and of His Christ; and He shall reign for ever and ever, Hallelujah! (Revelation 19:6, 11:15,19:16)

ハレルヤ！　全能の神は支配者となられた。この世の国は、われらの主とそのキリストの王国となった。主は世々限りなく君臨される。王の中の王、主の中の主。ハレルヤ！
（ヨハネ黙示録第 19 章 6 節 ,11 章 15 節 ,19 章 16 節）

Part Ⅲ　第 3 部

Resurrection Ascension & Atonement　復活・昇天・罪の贖いの約束

復活への信仰（第 40 曲～第 41 曲）　第 40 曲のソプラノアリアは、キリスト教信仰の根幹をなす「復活」への信仰を、「われらは知る。われを購い給う主は、ついには地に立たんことを…」と歌います。

続く第 41 曲の合唱も、「死が一人の人を通して来たのと同じように、死者の復活もまた、ひとりの人によって来たのだ。アダムのゆえにすべての人が死ぬのと同じように、キリストによってすべての人が生かされるのだ。」と信仰の真髄を歌います。

40. Air (Soprano)

I know that my Redeemer liveth, and that He shall stand at the latter day upon the earth. And though worms destroy this body, yet in my flesh shall I see God.
(Job 19:25 ～ 26)
For now is Christ risen from the dead, the first fruits of them that sleep. (I Corinthians 15:20)

40. アリア (ソプラノ)

わたしは知っている。わたしを贖って下さる方が生きておられるということを。来るべき日にその方は必ず地の上に立たれる。たとえ虫けらどもが私の肉体を滅ぼそうとも、私はなおこの体で神を見るであろう。(ヨブ記 19:25 ～ 26)
いまや、キリストは眠っている者の初穂として死者たちの中からよみがえられたのだから。(コリントⅠ 第 15 章 20 節)

41. Chorus

Since by man came death, by man came also the resurrection of the dead;
For as in Adam all die, even so in Christ shall all be made alive. (I Corinthians 15:21)

41. 合唱

死がひとりの人を通して来たのと同じように、死者の復活もまたひとりの人によって来たのだ。
アダムのゆえに全ての人が死ぬのと同じように、キリストによってすべての人が生かされるのだ。
(コリント I 第 15 章 21 節)

永遠の生命（第 42 曲～第 43 曲）　ここは 2 曲ともバスの見せ場です。

まず第 42 曲の叙唱で、最後のラッパが鳴り響く時、「我らは瞬時に変えられる。」と語り、続いてトランペットソロとの掛け合いのアリア（第 43 曲）が歌われます。その歌詞は「最後のラッパが鳴るとき、死者は朽ちざるものへと甦り、…」という永遠の生命への変容を高らかに歌い上げます。

42. Accompagnato (Bass)

Behold, I tell you a mystery; we shall not all sleep, but we shall all be changed in a moment, in the twinkling of an eye, at the last trumpet. (I Corinthians 15:51 ～ 52)

42. 叙唱 (バス)

見よ。あなたがたに奥義を告げよう。私たちすべては、眠り続けるのではない。終わりのラッパの響きと共に、一瞬にして変えられるのだ。 (コリント I 第 15 章 51 ～ 52 節)

43. Air (Bass)

The trumpet shall sound and the dead shall be raised incorruptible; and we shall be changed. For this corruptible must put on incorruption; and this mortal must put on immortality. (I Corinthians 15:52 ～ 53)

43. アリア (バス)

ラッパが鳴って、死者は朽ちない者によみがえり、私たちは変えられる。なぜなら、朽ちる者は必ず朽ちないものを身に付け、死すべき者は必ず死なないものを着ねばならないからです。 (コリント I 第 15 章 52 ～ 53 節)

死に対しての勝利（第 44 曲～第 46 曲）　アルトの朗唱が「『死は勝利に呑まれていた。』という聖書の言葉が成就された。」と導入し、第 44 曲では唯一の 2 重唱（アルト＆テノール）が , 死の敗北を再度歌います。それに続いて、第 45 曲の合唱が、対句表現のように「その一方で、神に感謝すべきことに、神は私たちに主イエス・キリストを通じて、私たちに勝利を賜ったのである。」と歌います。

Recitative (Alto)

Then shall be brought to pass the saying that is written,
Death is swallowed up in victory. (I Corinthians 15:54)

朗唱 (アルト)

その時、「死は勝利にのみ込まれた」と聖書に書いてある言葉が成就する。 (コリント I 第 15 章 54 節)

44. Duet (Alto & Tenor)

O death, where is thy sting? O grave, where is thy victory?
The sting of death is sin, and the strength of sin is the law.
(I Corinthians 15:55 ～ 56)

44. 二重唱 (アルト & テノール)

「死よ、お前のとげはどこにあるの？ おお墓よ、お前の勝利はどこにあるのか？」 死のとげは罪であり、罪の力は律法です。 (コリント I 第 15 章 55 ～ 56 節)

45. Chorus

But thanks be to God, who giveth us the victory through our Lord Jesus Christ.
(I Corinthians 15:57)

45. 合唱

その一方で、神に感謝すべきことに、神は私たちの主イエス・キリストを通じて、わたしたちに勝利を賜わったのである。 (コリント I 第 15 章 57 節)

信念の吐露（第 46 曲）勝利の締めくくりとして第 46 曲のソプラノアリアが、「神が私たちの味方であるなら、誰が私たちに敵対できようか？……キリストが甦って、いまや神の右に座り、私たちのためにとりなしをして下さるというのに。」と神の信任を得た信徒たちの自信に満ちた声を歌います。

46. Air (Soprano)

If God be for us, who can be against us? Who shall lay anything to the charge of God's elect? It is God that justifieth; Who is he that condemneth? It is Christ that died, yea rather, that is risen again, who is at the right hand of God, who makes intercessions for us.
(Romans 8:31, 8:33 ～ 34)

46. アリア (ソプラノ)

神がわたしたちの味方であるならば、誰がわたしたちに敵対できようか？ 誰が神に選ばれた者たちを訴えるだろうか？ 神は我らを義と認めて下さっているのに。 誰がわたしたちを罪に定めようとするのだろうか？ キリストが死なれて、いや、よみがえって、いまや神の右に座り、わたしたちのために取り成してくださるというのに。 (ローマ書第 8 章 31, 33 ～ 34 節)

屠られた子羊（＝イエス）に対する賛歌、アーメン（第 47 ～ 48 曲） 長大な終曲です。人間の原罪を負って受難し、人間を救ったイエスを讃え感謝の想いが歌われます。後半は「これまで述べてきたことが全て成就しますように。」という祈りの言葉「アーメン」が、美しく、そして、壮大な祈りの大フーガでしめくくられ、全曲が終わります。

47. Chorus

Worthy is the Lamb that was slain. and hath redeemed us to God by His blood to receive power, and riches, and wisdom and strength, and honour, and glory and blessing. Blessing and honour, glory and power,be unto Him that sitteth upon the throne,and unto the Lamb,for ever and ever.
(Revelation 5:12 ～ 13)

47. 合唱

屠られた小羊、自身の血によって私たちを神に贖って下った子羊こそが、力と、富と、知恵と、勢いと、誉れと、栄光と、賛美とを受けるにふさわしい。御座にいます方と子羊とに、賛美と、誉れと、栄光と、権力とが、世々限りなくありますように。
(ヨハネ黙示録第 5 章 12 ～ 13 節)

48. Chorus

Amen !

48. 合唱

アーメン

邦訳は、「メサイアハンドブック　三ヶ尻正」によります。
瀬戸メサイア合唱団　山田・井上

「“ オラトリオ・メサイア ”　その告白から現れるメサイア」

高岡　清

ロンドン初演時の《メサイア》歌詞パンフレットの表紙に以下のような引用があります。

「いざ我ら、大いなる事を歌わん」（MAJORA CANAMUS）
（ウェルギリウス『牧歌』第 4 歌）
「言うまでもなく、信仰の秘められた真理は大きい。
神の子は肉体として現れたが、霊によって全き者とされ、
天使らから仰がれ、異邦人に宣べ伝えられ、
世界中から信じられ、栄光へと迎えられた。」
（テモテへの手紙 3 章 16 節）
「この方に知慧と知識のすべては隠されてあり。」
（コロサイの信徒への手紙 2 章 3 節）

これは『オラトリオ・メサイア』に込めた台本作者チャールズ・ジェネンズの信仰の核心といえます。だが読み返すとひとつ疑問を感じます。「大いなる事」と言いつつ「秘められた」とはどういうことだろうか。「知慧と知識のすべては隠されてあり」とは何故なのか。じつはこの『オラトリオ・メサイア』は「メサイア」（救世主）である神の子イエス・キリストの伝記物語というようなものではありません。たんにキリストの生涯をたどる記録のようなものとして作曲されたのではないのです。キリスト伝の映画のように見終わって感涙に胸をなでおろすような「出しもの」ではありません。作者たちの意図から見るとじつは『オラトリオ・メサイア』は「告白すべきもの」というべきなのです。歌われる歌詞（聖書の言葉）を、歌う者と聴く者の全員によって心から喜びをもって告白すべきものなのです。「歌う」ということは「告白する」ことです。それは「打ち明ける」ことであり、心に隠し置いた思いの息吹を明らかに告げることです。人は真実を伝えようとする時、歌わずにおれないでしょう。なぜなら歌は隠された真理を明らかにせずにはおれないからです。

ジェネンズは、「救世主（メサイア）の真実」は「隠されている」ことをじつによく知っていました。キリスト教の本質は「神は隠されている」ことにあります。もし神が目に見えていたらどうして信じる必要があるでしょうか。神は隠されているからこそ「信じる」のです。

メサイアの救いも愛も支配も隠されている。神の子メサイアは「預言」に隠され、「飼い葉桶」に隠され、「十字架」に隠され、「栄光」に隠され、そして「このオラトリオ」に隠されている。しかしもしそれらの言葉を歌うなら、そこに「メサイア」は現れ、明るみに出され、「告白」され、その救いと愛のわざは明らかとなるのです。メサイアは教えられたり説明されるものではありません。それは歌われ告白され信じられて真に「救世主（メサイア）」の姿を現すのです。

【参考：　メサイアは原語メシアの英語読み。直訳は受膏（油）者で「王」とか「救済者」の意味。キリスト教ではイエス・キリストのこと。「キリスト」はメサイアの古典ギリシア語訳】

ジェネンズの台本執筆の手法は「間接的言及」つまり「ほのめかし」といわれています。見ると、キリスト（メサイア）の預言と生涯を描く第 1 部と第 2 部では引用聖句は 80 箇所にもなりますがキリストの姿が描かれる福音書の引用は 10 箇所にとどまっています。またこのオラトリオには、例えばバッハの受難曲のようなキリストの受難の直接描写はありません。受難の出来事は “Behold the Lamb of God” から “He was cut off out of the land of the living” まで、新約聖書ではない旧約聖書の各聖句によって暗示され想起させられているのです。つまりこの台本作者はメサイアの真実を「隠して」いるのです。この『オラトリオ・メサイア』の台本は聖書の言葉に満ち満ちているものの尚もメサイアの真理を露わにせず、「隠して」いる、「秘めて」いるのです。

なぜなのか。じつはそこにこそ作者のメサイアへの讃歌と告白の企らみがこめられているからです。それは「歌う」ことをとおしてこそメサイアを「告白する」ため、そして告白することで「メサイア」を登場せしめるためなのです。『オラトリオ・メサイア』は歌という告白によってついに「メサイア（救い主）」を出現させる仕掛けにほかなりません。演奏者も聴衆も「歌うこと」によって心から聖句を告白するときそこにメサイアみずから現れるのです。聖書の表面上の歌詞の外殻をはぎ取り、秘められたメサイア自身の言葉を剥き出しにしようと格闘する時、そこにいやおうなく「生きてはたらくメサイア」の真実が現れます。

【参考：その歴史的背景を言えば、台本作者ジェネンズは 18 世紀のイギリス社会に吹き荒れていた反キリスト教的な「理神論」（神は合理的存在で、人間に語りかけたり、救済したり、愛したりする人格的存在ではないと考える）に対する対決作品として『メサイア』を著した。】

『オラトリオ・メサイア』は３部構成です。メサイア・キリストの描写である第２部までをさらに細かく見れば、

1 から 4　「罪のゆるしと解放」 慰めを語りかける神
5 から 7　「神の厳粛な裁き」 偽りの支配は廃される
7 後半から 11　「誕生の預言」 生まれるみどりごは闇を照らす光なる救い主
12 から 15　「 降誕の情景」 田園の羊飼いに告げる天使の讃歌というクリスマスの様子
16 から 18　「救いと癒しのわざ」 病者や弱者を優しく招くキリスト
19 から 28　「受難と死」 人々の罪を背負い棄てられ罵られ鞭打たれて十字架に死するイエス・キリスト
29 から 39　「復活と勝利（ハレルヤ）」 キリストは復活し栄光の座に着き全能者として世を治める

と分けられますが、これらの曲群（聖書の文言）を歌いまた聴く時に、感銘しつつも尚なにかしらのもどかしさを感じずにはおれません。それというのも、「このオラトリオが彼をメサイア（救い主）と歌おうとする（告白する）その理由は何だ」と思わずにおれないからです。

そうして『オラトリオ・メサイア』の最高の「告白」は第３部「復活と永遠の命」へと仕組まれることによってついに完全なかたちとなります。ベテランのメサイア歌いの方々の多くが持つ疑問に「メサイアであるイエス・キリストの生涯は第 1 部と第２部ですべて描き切り、最後は『ハレルヤ！』と讃えたのに何故また第３部を歌うのか」というものがあります。じつにそれはこの『メサイア』の核心に近づいた疑問といえます。それこそはジェネンズが『オラトリオ・メサイア』を真に結晶させるために設定した仕掛けなのです。

なるほど第 1 部と第２部ではイエス・キリストの「預言」と「降誕」そして「受難の死」「復活と昇天」が歌われました。合唱者も独唱者も指揮者もオーケストラもさらに言えば聴衆も歌詞（聖句）と一体となってメサイアであるキリストの姿を体現してきました。しかしだからこそ、そこでメサイアの歌すなわち告白は終わらないのです。伝記映画のようにキリストを鑑賞する物語ならそこで終わってもいいでしょう。だが第 1 部、第２部を歌った者ならばどうしても第３部を歌わざるをえないのです。なぜなら第３部では、それまで歌ったメサイア・キリストによって照らされ映し出された（要するに “ 火を付けられた ”）合唱者自身が今度は自分たちの告白すなわち人生を歌うのだから。メサイアを歌う者は自分自身を歌わざるをえない。メサイアを告白する者は自分自身の人生を告白するのです。そこに作者ジェネンズがこの作品を “ ファイン・エンターテインメント ” と言った本領があるといえるでしょう。

宗教曲をエンターテインメントと言うとは。教会でなく劇場で演奏するとは。当然、当時の教会から批判されました。しかしここでも、キリストは飼い葉桶の赤ん坊の姿に隠れたように「劇場」の中に隠れ、そして『オラトリオ・メサイア』に隠れているのです。

第３部へとつながる、見落としそうなしかし驚くべき仕掛けが第２部に隠されています。イエス・キリストは受難によって死んだ。He was cut off out of the land of the living.「彼は命あるものの地から断たれた」。そして次

はいよいよ神の力によって「復活」を遂げ勝利するはず。ところが次曲は But Thou didst not leave his soul in hell.「しかしあなたは彼の魂を冥府に捨てず」とだけ。どうしたことかキリスト教信仰の喜びの根幹である「復活」の一文字もないのです。ジェネンズは「復活を認めない理神論」と対決しているはずなのにここでは何も言わず、じつにあっさりとメサイアの復活がやり過ごされている。キリスト教の核心なのに。どうして。しかしまさにそれこそジェネンズの目論む狙いだったのです。なぜというに「復活と永遠の命」がメサイア・イエス一人の記録のようなものにならず、「メサイアを歌いまた聴くすべての人間の復活と永遠の命」となるためにです。そして『メサイア』全曲の「精髄」として第３部「復活と永遠の命」をあらわしたのです。キリストの復活はどこに？　キリストは第３部で復活するのです。

第３部に登場する歌詞の聖句はキリスト教葬礼用のものが多く、また構成も葬礼に準じています。文字通り「葬式」そのものと言ってよいでしょう。縁起が悪いと言わないように。キリスト教の葬礼は「キリストに呼び覚まされたわたし」の「復活と永遠の命」を確認し確信する場なのです。

メサイアは十字架であがないの死をもって罪の呪いの死を滅ぼした。これがキリスト教の中心なのですが、メサイアを信じる人間自身が復活しないことにはキリスト・メサイアは復活しないのです。「死者が復活しないならキリストも復活しない」（コリントⅠ 15:13）と聖書にあります。シンプルに言えば「メサイア・キリストは信じる人間が復活するところにしか復活しない」のです。メサイアは人間の中に復活する。来世の復活ばかりではない。今ここで、メサイアを知る人間が絶望から希望へと立ち上がり、新しい命の勇気の中に進むとき、そこにメサイアは凛として復活しているのです。

だから『メサイア』第３部で「復活する者」として歌い上げられるのは人間としての演奏者自身であり聴衆自身です。それまでメサイアを歌ってきた者、聴いてきた人間自身がここではついに生き生きと自分自身の復活を歌うのです。

メサイアを歌うということは「わたしは変わる」ということです。ジェネンズとヘンデルはキリストの復活を合唱者、演奏者そして聴衆の復活に託したのです。おそらく作曲者ヘンデル自身も 1741 年８月、劇場経営の低迷や競合音楽家からの誹謗中傷や病いに倒れ療養中の状況にありながら台本を受け取るやわずか 24 日間で完成させることができたというのは、「隠されたメサイア」に潜む驚くべき真理を発見したからといえるでしょう。ある時は涙し、ある時は一点を凝視するように彼はこの『オラトリオ・メサイア』を作曲したという。それこそヘンデル自身の人生最大の復活劇だったのです。

第３部は初めに I know that my Redeemer liveth「わたしは知る、わたしの贖い主は生きていることを」と第１人称（わたし）で始まります。そして続く For as in Adam all die,in Christ shall all be made alive は死ぬべきすべての「わたし」が復活すると歌う。以下、The trumpet shall sound には「わたし」の復活によって死が滅ぼされる勝利があきらかとなる。corruptible「朽ちるもの」が incorruptible「朽ちないもの」を「着る」とは「新しいわたし」が「古いわたし」を超え出ていくことです。

だがじつに面白いことに、メサイアによって復活する者たちの讃歌はやがて讃美されている神の子羊（Worthy is the Lamb）なるメサイアに導かれ永遠にめぐり始める。いつしか「アーメン唱」が進むうちに指揮しているのはメサイア自身ではないかと錯覚するような宇宙的感覚に包まれるのです。「アーメン」とは「真実」という意味です。メサイアの真実は人を真実とします。キリストがメサイア（救い主）として歌われるとき、歌うすべての演奏者の人生が真実に満たされます。メサイアの真実は歌い聴く者の真実に直結し、『オラトリオ・メサイア』のファイン・エンターテインメントはわたしたちの人生をもファイン・エンターテインメントとします。

（筆者：　日本キリスト教団牧師　渥美半島の田原吉胡教会　　瀬戸市生れ　名古屋在住）

瀬戸メサイア合唱団

1990 年 3 月設立。2001 年創立 10 周年記念、2005 年万博記念、2010 年創立 20 周年記念、2016 年創立 25 周年記念「メサイア」全曲演奏会を開催。2000 年、2003 年、2007 年にドイツ親善演奏旅行を実施、ザクセン州各地の教会、音楽祭で演奏。2001 年、2005 年、2006 年、2010 年に、ドイツの 3 都市より合唱団、吹奏楽団、オーケストラ等が来日の際にも彼らと共演。「メサイア」の他 2003 年モーツアルト「レクイエム」、2006 年ブラームス「ドイツ・レクイエム」、2014 年バッハ「ロ短調ミサ」、2018 年ヴィヴァルディ「グローリア」等を公演。チャリティコンサートにも力を注ぎ、これまで 18 回のコンサートを開催している。皆様からお寄せ頂いた募金は瀬戸市社会福祉協議会、中日新聞社を通して、自然災害の被災地等に寄付させて頂いている。2005 年、これまでの活動に対し瀬戸市文化協会より「つばき賞」を受賞。2010 年、パチンコ大衆文化・福祉応援賞受賞。2013 年、愛銀教育文化財団助成金受賞。2018 年名古屋学院大学と音楽活動での連携覚書を締結した。

ソプラノ

青山　伸子　池野　麻美　石川　直美　磯村美有紀　岩崎　林子　岩本　純子
加藤　文子　國松富美子　黒岩日出子　小林　京子　五味　典子　佐藤　和子
柴田冨貴子　柴山こずえ　中嶋　道代　林　ひとみ　平野真奈美　松下佳代子
松田小百合　松永　敦子　水谷　久江

アルト

岩崎　明美　大矢　汎子　梶田多起子　加藤　信子　佐藤久美子　佐野　陽子
高岡美千代　中山　秋子　野沢　陽子　久田千枝子　平野　美穂　松村七雅子
三輪　陽子　山田　晶子

テノール

伊藤　洋二　井上　節夫　岩波　健夫　大久保　亮　合瀬　弘正　平野　孝明
平野　好道　山田　聡　山本進太郎　渡辺　保明

ベース

島崎日出男　近田　和彦　鈴木　健司　平野　孝佳　松本　康生　山越　浩一

スタッフ

井上　節夫　岩波　健夫　加藤　信子　國松富美子　五味　典子　佐野　陽子
柴山こずえ　中山　秋子　林　ひとみ　松村七雅子　山田　聡



バッハ・ヴィヴァルディ演奏会　2018 年 10 月 8 日

瀬戸メサイア合唱団の歩み

1990. 3. 8	合唱団創立	
1990 ～ 1197	◎第１回～７回「メサイア」演奏会	瀬戸市文化センター
1998. 12. 23	第１回クリスマス・チャリティーコンサート	瀬戸信用金庫エンゼルホール
1999. 12. 13	第２回クリスマス・チャリティーコンサート	瀬戸信用金庫エンゼルホール
2000. 7. 20 ～ 31	ドイツ親善演奏旅行（ハノーバー万博）	ドイツ・ハノーバー他
2000. 12. 24	第３回クリスマス・チャリティーコンサート	瀬戸信用金庫エンゼルホール
2001. 4. 29	◎創立１０周年記念「メサイア」全曲演奏会	瀬戸市文化センター
2001. 10. 13	ドイツ合唱団・国際交流・交歓パーティー	瀬戸市民会館・サンプラザ
2001. 12. 6	第４回クリスマス・チャリティーコンサート	瀬戸信用金庫エンゼルホール
2002. 10. 27	ハーモニー白馬ジョイントコンサート出演	白馬村ウイング２１ホール
2002. 12. 15	第５回クリスマス・チャリティーコンサート	瀬戸信用金庫エンゼルホール
2003. 4. 13	モーツァルト「レクイエム」演奏会	長久手町文化の家森のホール
2003. 11. 6	第６回チャリティーコンサート	瀬戸信用金庫エンゼルホール
2003. 12. 5	ドイツ・オーバーヴィーゼンタール合唱団合同演奏会	ドイツ・ザクセン州
2003. 12. 7	ドイツ・ケムニッツ工科大学「メサイア」合同演奏会	ドイツ・ザクセン州
2004. 11. 28	第７回チャリティーコンサート	瀬戸信用金庫エンゼルホール
2005. 3. 27	◎創立 15 周年記念・万博「メサイア」演奏会	瀬戸市文化センター
2005. 5. 20	瀬戸市文化協会「つばき賞」受賞	
2005. 8. 8	ドイツ・オーバーヴィーゼンタール交流演奏会	瀬戸蔵・つばきホール
2005. 9. 23	ドレスデン吹奏楽団万博演奏会友情出演	愛知万博会場
2006. 3. 21	ブラームス「ドイツ・レクイエム」演奏会 （ドレスデン聖母教会室内合唱団賛助出演）	瀬戸市文化センター
2006. 12. 17	第８回クリスマス・チャリティーコンサート	瀬戸蔵・つばきホール
2007. 11. 3	ドレスデン吹奏楽団４０周年記念演奏会賛助出演	ドイツ・ザクセン州
2007. 12. 8	まちの音楽会 コーラスグループ「サーカス」と共演	瀬戸市文化センター
2007. 12. 24	第９回クリスマス・チャリティーコンサート	瀬戸蔵・つばきホール
2008. 12. 21	第 10 回クリスマス・チャリティーコンサート	瀬戸市文化センター
2009. 11. 3	第 11 回チャリティーコンサート	瀬戸市文化センター
2010. 3. 7	◎創立２０周年記念「メサイア」全曲演奏会 （ドレスデン室内弦楽楽団賛助出演）	瀬戸市文化センター
2010. 5. 25	パチンコ大衆文化・福祉応援賞受賞	
2010. 12. 19	第 12 回クリスマス・チャリティーコンサート	瀬戸市文化センター
2011. 11. 23	第 13 回チャリティーコンサート	瀬戸市文化センター
2012. 3. 11	東日本大震災被災者のための「レクイエム」（G. シュバルツェ）演奏会	瀬戸・永泉教会
2012. 12. 9	第 14 回クリスマス・チャリティーコンサート	瀬戸市文化センター
2013. 10. 3	愛銀教育文化財団助成受賞	
2014. 4. 27	陶祖 800 年記念　バッハ「ミサ曲ロ短調」演奏会	瀬戸市文化センター
2014. 12. 7	第 15 回チャリティーコンサート	瀬戸市文化センター
2016. 4. 24	◎創立 25 周年記念「メサイア」全曲演奏会（古楽による初演版）	瀬戸市文化センター
2017. 8. 20	第 28 回白馬夏の終わりコンサート出演	白馬ウィング 21 ホール
2017. 10. 8	第 16 回チャリティーコンサート	瀬戸市文化センター
2018. 10. 8	バッハ・ヴィヴァルディ演奏会	瀬戸市文化センター
2018. 12. 25	名古屋学院クリスマスチャペルコンサート	名古屋学院大学瀬戸キャンパスチャペル
2019. 12. 8	第 17 回チャリティコンサート	名古屋学院大学瀬戸キャンパスチャペル
2022. 7. 10	瀬戸メサイア合唱団　演奏会	瀬戸蔵・つばきホール
2024. 2. 25	第 18 回チャリティコンサート	瀬戸市文化センター

地域みっちゃく生活情報誌®

月刊はる kasugai Free Magazine

月刊ぶるうむ 小牧・豊山 地域みっちゃく生活情報誌® bloom
komaki toyoyama free magazine bloom

オリジナル文具
グッズの販売サイト

こころとどむ
kokorotodom.com

木野瀬印刷株式会社
https://kinose.co.jp/

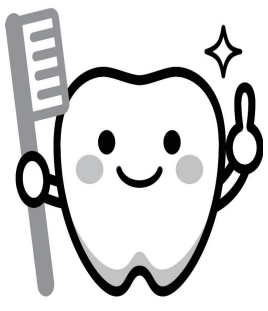
日本基督教団 **瀬戸永泉教会**

1888 年 10 月 20 日創立

〒 488-0822 瀬戸市杉塚町 5
TEL/FAX 0561-82-2314



牧師
横山 厚志
小椋 実央



歯を磨こう

まつむら歯科医院

〒489-0873
瀬戸市新郷町25-45
☎ 0561-84-8822



瀬戸信用金庫
理事長 稲垣 孝幸
瀬戸市東横山町 119 番地の1 / TEL 0561-82-3141



AICHI EXPO 20th ANNIVERSARY
愛知万博開催から
20 周年



せとしんアプリ
せとしんアプリは、口座開設・残高・入出金明細の確認やお手続きがかんたんにできます。



せとしんアプリのダウンロードはこちら
iPhone の方 →
Android の方

「私たちには、御父の御前で弁護してくださる方があります。
それは、義なるイエス・キリストです」（聖書）

弁護士　平野好道

名古屋市中区錦 1-20-25 広小路 YMD ビル 7F
弁護士法人草野法律事務所
電話　052-203-5305
FAX　052-203-8118
e-mail:yhirano@abelia.ocn.ne.jp

ヨハネ受難曲を一緒に歌いませんか？

バッハアンサンブル名古屋では、2026 年春頃にバッハのヨハネ受難曲の演奏会を予定しています。一度練習をのぞきに来てください。詳しい練習場所は以下をご覧ください

https://bachnagoya.sakura.ne.jp/

敬愛
名古屋学院敬愛同窓会

〒461-8676 名古屋市東区砂田橋二丁目1番58号（名古屋学院内）
名古屋学院敬愛同窓会 事務局
電話 052-722-2835
e-mail： keiai@meigaku.ac.jp

名古屋学院グリークラブOB会

私達は瀬戸メサイア合唱団を応援します。
会長：林 正道（S41卒）村田 格一（S41卒）熊沢 辰巳（S41卒）
水谷 弘和（S41卒）長瀬 増重（S42卒）大倉 猛（S45卒）
大河内 克已（S48卒）深川 準士（S48卒）水野 隆夫（S48卒）
岡田 直人（S48卒）山田 正隆（S49卒）平野 孝佳（S54卒）
他 有志2名

昨年、名古屋学院高校のグリークラブとして活動していたOB達が再びチャペルで歌おうと結成しました。　主に、学校行事等で校歌を歌います。

合唱団員募集中
名古屋学院（現：名古屋中高）出身者なら、どなたでも参加できます。
参加希望・お問い合わせは上記、敬愛同窓会へ

グリークラブOB会 ホームページ：https://swj.kilo.jp/glee/

税理士法人
小澤会計事務所
税理士　小澤　修
税理士　小澤慎太郎
瀬戸市共栄通 5 丁目 2 番地
TEL 0561-84-5020

自動車燃料をはじめ各種コーティング
洗車・一流メーカータイヤが安い！！
愛車の事なら・・・コスモ石油　瀬戸品野 SS
（有）塚本産業
瀬戸市品野町 1-205（消防東分署そば）
TEL0561-41-0885

愛知 J.S. バッハ合唱団有志

バッハ「クリスマス・オラトリオ」全曲演奏会

2026 年 1 月 12 日　15 時開演

名古屋文理大学文化フォーラム（稲沢市民会館）

指揮：本山 秀毅

演奏：大阪チェンバーオーケストラ

ソプラノ：金原 聡子

ア ル ト：三輪 陽子

テノール：大久保 亮

バ　　ス：鈴木 健司

主催　愛知 J.S. バッハ合唱団

meguru
diverse dining

日々のお弁当　仕出し弁当　オードブル　ケータリング

せと末広町商店街の裏路地にある小さなお弁当屋さんです。
美味しいで笑顔があふれる街になりますように

瀬戸市末広町2-14
☎ 070 4694 1607
Open 木金土日

@MEGURU_DELI

「メサイア」合唱を客席で歌える

シングイン・メサイア・ナゴヤ

友だち追加
お願いします

最新情報は公式 LINEから
@153oyavv

次回演奏会予定
２０２６年２月２３日（月祝）

ご協賛

グリーンシティケーブルテレビ株式会社
江風陶苑
学校法人 名古屋学院大学
株式会社 波多野耕文堂
古民家宿 ますきち
岩垂富貴美
大矢 汎子
中山 俊樹
松永 鐘治
宮崎 嘉夫

合唱団員募集

練　習　日	毎週木曜日　PM 6:45 ～ 9:00
練 習 会 場	瀬戸市原山公民館　ほか
団　　費	月 3,500 円
常任指揮者	高岡　美千代
ホームページ	https://seto-messiah.com
お 問 合 せ	井上　（090）7686-4442

公益財団法人
瀬戸信用金庫
地域振興協力基金

この事業は、（公財）瀬戸信用金庫地域振興協力基金
からの助成を受けて実施しております。

GOETHE INSTITUT

KoD は来日に際しゲーテ・インスティトゥートより助成を受けています

AICHI EXPO 20th ANNIVERSARY

愛・地球博 20 祭連携イベント